

第22回 揖保川流域委員会 審議結果速報

■日時：平成19年8月20日（月）9:30～12:00

■場所：たつの市新宮ふれあい福祉会館 1F大ホール

委員会の主な内容

1. 実現のための具体的方策の検討について

河川管理者より、揖保川水系河川整備計画段階における分析計画書（案）の作成にあたり、治水、利水、環境の視点からそれぞれの整備の方向性および実現のための具体的方策について報告があり、さらにこれらを踏まえ、考えられる複数案の抽出・設定について、詳細な説明がなされました。

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 目標洪水として規模もパターンも異なる3洪水をあげているのは、当初からの議論（予算の限度額よりS47年洪水を目標洪水として抽出）と異なりますが、なぜですか。
→（河川管理者からの回答：S47年洪水を含め、さらに規模や降雨パターンの異なる2洪水を加えた3洪水を抽出して、環境面のみならず経済的影響、技術的影響、社会的影響なども検討し、その結果を揖保川の中期的な整備計画に反映させることが目的です。）
- 魚道の改築について、堰の管理が河川管理者ではないので、この委員会で議論できないと思います。
→（河川管理者からの回答：今後、管理者同士の話し合いの場を設ける必要があると考えています。）

2. 環境等影響分析手法の選定について

複数案の事業実施に伴い、環境的影響要素、社会への影響要素、経済的評価要素、技術的課題およびそれぞれの分析手法の選定について河川管理者より報告がなされました。

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- 資料では環境の部分が非常に多く記述され、社会的、経済的な部分についても、もっと検討をしてほしい。
- 分析計画書について、一般の人にも分かりやすく、具体的な内容を示した資料を作成し、より関心を高める工夫をしてほしい。
- 重要な種や群落にとらわれることなく、生物の生息場としてとらえ評価してほしい。

3. その他

河川管理者より、今後の予定として、上中下流3箇所において住民説明会を実施し、意見を聴取すること、今年度内に河川整備計画の原案を作成することを目標にスケジュールを立てていることが示されました。

委員からの主な意見は以下のとおりです。

- スケジュールは非常にタイトであると思います。
- 住民説明会には委員も可能な限り参加してほしい。

4. 傍聴者からの発言

2名の傍聴者から、以下の発言がありました。

- 委員会の大きい会議だけでなく、住民が発言できるような場を設けて下さい。
- せせらぎだよりは昨年度から紙面が減ったため、情報量も減っています。より多くの情報が欲しいと思います。
- この委員会が終わるのが寂しく、何らかの形で継続して欲しいと思います。

以上